

お申込から完成までの流れ

工事の進捗と現場検査の流れ（タイミング）は下記の通りです。検査開始前のサービスの事前説明・図面の確認・打ち合わせが、精度の高い検査を行う上で重要なポイントです。

～ サービスの手順と検査内容 ～

※以下はあくまで一例です。工法・工事の進捗具合等によって調査のタイミングは異なります。

※以下は、木造在来工法を例にしておりますが、2×4工法や鉄骨造も対応しております。

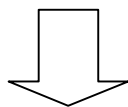
※簡易コースの調査は赤字で記載しております。



1. 売主または工務店とお客様、調査担当者で打ち合わせ

- ・ 調査の進め方等についての打ち合わせを行います。場所は、建築現場や売主の事務所等で結構です。
- ・ この打ち合わせは、原則、着工前に行います。

※簡易コースもこの打ち合わせを実施

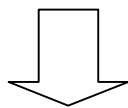


（工事等の進捗）工事着工・基礎ベース工事・掘り方



2. 第1回現場検査

- ・ 建物配置(敷地に対しての配置)のチェック
- ・ 基礎の形状・深さなどのチェック。



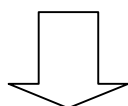
（工事等の進捗）栗石地業・転圧



3. 第2回現場検査

- ・ 配筋及び防水シートなどのチェック。
- ・ この頃に役所等による中間検査が実施される。

※簡易コース : 第1回現場調査

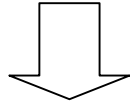


（工事等の進捗）防水シート・サイコロ・かぶり厚・
スラブの配筋・基礎の立ち上がり・
コンクリートの打設



4. 第3回現場検査

コンクリート状況などの確認を行います。



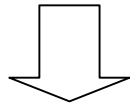
(工事等の進捗) 開口部床下換気孔補強・アンカーボルト・
ホールダウン金物



5. 第4回現場検査

- ・ 第3回現場検査後の工程をチェック。

※簡易コース : 第2回現場調査



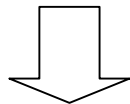
(工事等の進捗) 躯体・構造体・接合部・基礎・土台・管柱・
通柱・筋交接合部・梁・金物接合部・火打ち梁



6. 第5回現場検査

- ・ 金具や柱などのほか、シックハウス対策のチェックなどを行う。
- ・ この後、第6回現場調査までに残代金をお支払いいただきます。

※簡易コース : 第3回現場調査



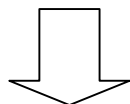
(工事等の進捗) 小屋裏・束・垂木・金物・構造用合板



7. 第6回現場検査

- ・ ここでもシックハウス対策のチェックなどを行う。
- ・ この頃に役所等の中間検査が実施される。

※簡易コース : 第4回現場調査

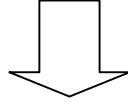


(工事等の進捗) 断熱材・壁・天井・仕上工事



8. 第7回現場検査

下地を張る前に配管・配線の確認などを行う。

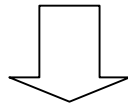


(工事等の進捗) 設備工事・仕上工事



9. 第8回現場検査

クロスを張る前に下地の検査などを行う。



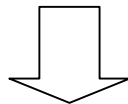
(工事等の進捗) 建具工事・仕上工事・外構工事



10. 第9回現場検査

- ・ 完成後の検査。内覧会立会い・同行（一戸建て）サービスと同じ検査内容となります。
- ・ この頃に役所等の完了検査が実施される。

※簡易コース : 第5回現場調査

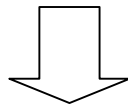


(工事等の進捗) 完成時の検査結果等に関する補修工事



11. 第10回現場検査

前回の指摘内容の補修の確認（最終確認）を行います。



12. アフターサービス

入居後も問題が何かございましたらご質問等にお答えいたします。



- ※ 既に着工済みの建物の場合でも、場合によってはお受けすることが可能です。一度、ご相談ください。但し、既に工事が進んでいる箇所で見視できない箇所については対象外となります。この場合、検査回数等によって価格を決定いたします。
- ※ 簡易コースは、構造部分を主とした調査です。当社としては標準コースをオススメしております。

～ 本サービスの考え方について ～

弊社の提案する検査サービスは、全工程を目視できるタイミングで現場検査を行うことを目的としております。例えば、標準コースの第1回現場検査の際には地面を掘り割栗石を配置した段階で検査を行いますが、このタイミングであれば、基本的にはここまでの工程が目視できます。第2回現場検査の際には、第1回の後の工程結果が目視できるわけです。

極論すれば、毎日、現場に張り付いていることが理想ですが、それではあまりにも費用が高くなってしまいます。ためにこのような検査体制にしております。